



広報

つがる

2007

10.15

No.65

● 市の人口と世帯数（平成19年10月1日現在） ● 人口 39,036人（男 18,680人／女 20,356人） ● 世帯数13,357世帯



おいしいお米が収穫できました

9月20日、柏小学校5年生が学校田の稲刈り作業を行いました。

昔ながらの足踏み式脱穀機を体験した後、機械での脱穀と比較しながら、農作業のうつりかわりを学びました。

11月の収穫感謝祭が楽しみです。

主な内容

- 福島市長、調整交付金の陳情 2
- つがる市斎場竣工 3
- 全国スポーツレクリエーション祭 4
- 第3回伝統芸能保存フェスタ 5
- つがる市老人福祉大会、統合中学校（仮称）校舎着工 ... 6～7
- 街の話題 8～9
- おしらせ 10～15

福島市長が 木村委員長 (衆議院安全保障委員会)に要望



防衛省は8月29日、在日米軍再編への協力度合いに応じて支払う再編交付金について、受給候補地の交付額の算定基準を盛り込んだ運用概要をまとめました。

つがる市は、航空自衛隊車力分屯基地にある米軍の弾道ミサイル警戒用施設「Xバンド・レーダー」が国の交付金の対象となっていることから、9月4日、衆議院安全保障委員会が県内施設の視察の際に、木村太郎（当時）委員長へ「基地周辺対策に関する要望」を陳情しました。

福島市長は「本市は、車力分屯基地を設置以来運用にあたってはこれまで数々の協力をしてきました。また、昨年日本で初めての米軍による弾道ミサイル防衛のためのXバンド・レーダー・システムの配備を受け入れし、現在米軍車力通信所として運用されていますが、基地周辺対策に係る経費が地元に移転されることにも財政の圧迫にもつながるものであるため、国においてつがる市の実情をご理解いただき特段の配慮をお願いします」と陳情しました。

これに対し、木村委員長は「今日は防衛省、外務省の担当も同行していますので、委員会という場を通じて、皆さんが日米安全保障の体制の下にXバンド・レーダーを受け入れ、地域との信頼関係を構築するために、地元として大事な判断をされたと思いますので、関係省に対して、皆さんと一緒に思いで要求していきたいと思います。」と福島市長に約束してくれました。

要望事項

1 Xバンド・レーダー・システムの調整交付金の対象について

米軍資産については、日米協定に基づき非課税扱いになっています。

このためその影響額を国が調整交付金として交付することになっていますが、同システムは移動式であるという総務省の見解から交付金の対象外となっています。

市としては、レーダー周辺に立ち入り制限区域が設定されているほか安全確保のため半径・高さ6メートルにわたり飛行制限空域が設けられている状況であり、米軍関係者は「通信等インフラ（基盤）と連動しており、車力通信所以外での運用予定は無い」との事であります。

よって、一部タイヤが装着されているものは、移動車両として取り扱うには疑問であり、調整交付金の対象になっていると考えます。

2 市道の買い上げ及び代替道路の付け替えについて

自衛隊C地区を横断する市道（豊富18号線）は海岸に通じる道路で、これまで、農、漁業関係者が多く利用してきました。

Xバンド・レーダー配備に

伴い警備が強化されたことから、自動小銃を持ち地域住民に色々訪ねたりすること、住民は大変な不安を感じています。又、日米両国の基地関係者の車両も頻繁に通行することから、市道の維持・修繕には多額の財政負担も強いられています。

よって、同市道を国に買い取って戴くと共に、代替道路の敷設をお願いします。

止まれ 英語表示の道路標識

Xバンドレーダー運用に伴い、市内に居住している米軍関係者に向けて、市はつがる警察署の協力を得て日本語と英語を併記した道路標識を市



道2カ所（4枚）に設置しました。今年の冬に米軍関係者の物損事故が相次ぎ、米軍関係者は日本の交通標識を知らない人もいて、事故を懸念し交通安全対策を強化するため設置しました。設置した標識は一時停止を「STOP」、速度落とせを「SLOW DOWN」と表示しており、柏地区と豊富町地区に設置しています。危険箇所を調査しながら、来年度以降も順次数を増やしていく予定です。



つがる市新斎場落成

完成した施設は、旧斎場の東側に建設

され、最新鋭の技術を駆使した無煙・無臭の設備を取り入れるなど、環境対策にも万全を期しており、新たに小動物用の火葬炉を併設し、住民福祉と公衆衛生の向上に大きく寄与するものと期待されています。

従来の斎場のイメージを一新した明るい近代的な建物としながらも、ご遺族やご会葬の方々が心の安らぎを感じ、故人を静かに偲ぶ、大切な場所となるよう十分な配慮をしています。



▲明るいエントランスホール

【問い合わせ先】
つがる市斎場
42・6199
環境衛生課
42・1110



窓が大きく明るい待合室



近代的な炉前ホール

●時 間

午前8時30分～午後5時15分

●火葬開始時間

午前の部 9時～10時30分

10時～11時30分

午後の部 1時30分～3時

2時30分～4時

●所要時間 告別から収骨まで約90分

●休 業 日 1月1日、2日、8月16日

●ご利用の手続き

斎場の使用は今までどおり、市役所市民課又は各支所の民生福祉課で死亡届の提出と火葬許可手続きをしていただきます。

小動物（ペット）の焼却は、火葬許可等（市役所環境衛生課受け付け）の手続きを終えた後、ダンボール箱等に入れて、直接斎場へ持参してください。

なお、閉庁日の受け付けは本庁の日直で受け付けています。

【施設概要】

■所在地 つがる市木造下福原篠原116番地33

■敷地面積 5,771.14㎡

■延床面積 1,384.75㎡

■建築構造 鉄筋コンクリート造 一部2階建

■施 設

火葬棟 冷却室付火葬炉3基、動物炉1基、炉前ホール、告別ホール、収骨室、監視室、事務室

待合棟 待合室（和室1室、洋室1室）、ラウンジ

その他 霊灰塔、駐車場

■設 備 全館冷暖房

■総事業費 687,759千円

内 訳 地 質 調 査 1,176千円

設 計 監 理 24,075千円

建築工事費 543,900千円

築炉工事費 107,730千円

備 品 10,878千円

■建築工事着工 平成18年9月21日

■建築工事完成 平成19年9月14日

■建物供用開始 平成19年10月1日

【使用料】

名称	区 分	単位	金 額	
			市 内	市 外
つがる市斎場	死亡者の年齢が10歳以上	1 体	10,000円	25,000円
	死亡者の年齢が10歳未満 （流・死産児を含む）	//	6,000円	12,000円
	改葬のための火葬	//	3,000円	5,000円
	四肢その他人体の一部	1 人分	2,000円	7,000円
	小動物	1 体	8,000円	13,000円

※車力斎場の使用料は現行どおりです。

ご利用の際には、次の事項に留意してください。

1. 納棺の際の注意事項

ご遺体の尊厳を保ち、きれいな形で収骨できるようにするため、次に掲げるものは棺の中に入れてはいけません。

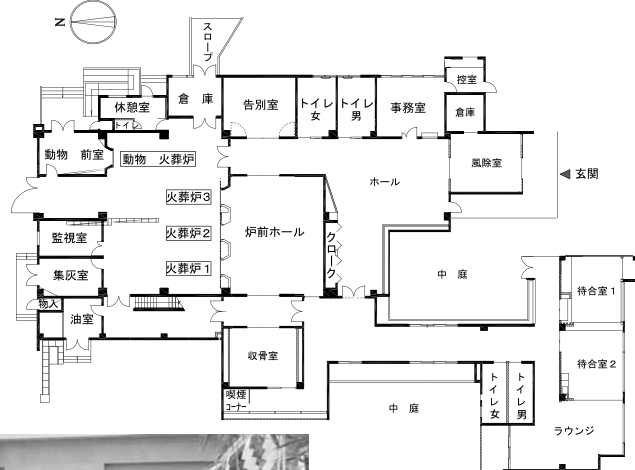
ガラス製品・金属類・硬貨類・陶磁器類等の不燃性のもの・衣類・書籍等

2. 利用の心得

- (1) 茶器類は待合室に備えてあります。
- (2) 待合室等は、利用者が責任を持って後片付けをお願いします。
- (3) 飲食物の持ち込みは自由ですが、空カン・空ビン等はお持ち帰りください。
- (4) 指定された場所以外での喫煙はご遠慮願います。
- (5) 当斎場は、つがる市が運営する施設であり、利用料金等は条例で定められています。
「お清め」や「志」などの心付けは、固くお断りいたします。

3. 斎場に持参していただくもの

- (1) 火葬許可証
- (2) 斎場使用許可証
- (3) 収骨壺及び添え花（生花）、お供え物、ローソク（大2本）、線香、お茶葉、ゴミ袋等



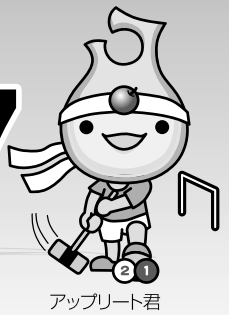
斎場修祓式及び落成式

しやうほう

10月1日、新斎場において、つがる市斎場修祓式が行われ、これからの斎場の安全を祈願しました。火入れ式では福島市長、高橋議長と工事関係者が点火を行い新斎場の完成を祝いました。また、「松の館」で行われた落成式

で市長は「長年の懸案であった斎場が近代技術の粋を集めた最新鋭の施設として完成したことは喜ばしいことであり、またご会葬の方々が故人を偲ぶ、思い出と別れの大切な場所となることを確信しています」と式辞を述べました。

スポレクあおもり2007



熱くなれ みんな輪になれ りんごの国で

9月23・24日につがる地球村ゲートボール場で開催された、第20回全国スポーツレクリエーション祭ゲートボール大会は、全国から86チームと韓国から2チーム約850人の選手と延べ250人のスタッフ、約1000人の来場者が地球村に訪れ、盛大に開催されました。



つがる市と韓国の友好親善
ではペナントを交換



韓国チームは強かった！

「熱くなれ、みんな輪になれ、りんごの国で」を合言葉に行われたゲートボールは見る者を熱くさせるゲーム展開となりました。
ゲートボールは今や、高齢者のゲームではなく、20代から楽しめる生涯スポーツとなりました。今大会で最も若いチームは、平均年齢43歳で中には21歳の参加者もいました。
また、最も高齢のチーム平均は福岡県から参加した81歳でした。今大会の特別賞として大会中

に誕生日を迎えた8名には「ハッピーバースデー」賞が贈られました。
大会では、韓国チームがやはり強敵で、チームプレーであるゲートボールをキャプテンがうまくリードしながら指示された所にボールを転がし、次々と相手のボールを弾き飛ばしながら確実にポイントを獲得していき、対戦したチームも深く負けを認めざるを得ないという感じでした。
地元から、木造、柏、稲垣の3チームが参加し、どのチームも善戦しましたが、柏チームの島田あやめさんは、ゲートボール参加者の最高齢でもありましたが、チーム一丸となりゲームを楽しんでいました。
また、会場では、「つがる市」



大会最高齢の、柏の島田あやめさん(92歳)もがんばりました

大会成績

1位グループ

木次(島根県)、滝見クラブ(宮城県)、天啓クラブ(三重県)、韓国A、石和しんめい(山梨県)、国富町GBクラブ(宮崎県)

2位グループ

焼津クラブ(静岡県)、若葉(茨城県)、美保関(島根県)、川崎クラブ(宮城県)、須玉あずま(山梨県)、茂原コスモス(千葉県)

をPRし、地元料理の「けの汁」や「ジュンサイ汁」をふるまい、ねぶた囃子や稲垣レクダンスチームの踊りも披露され、県外からの参加者は青森をつがる市を知るいい機会になったのではないのでしょうか。
ふるまいコーナーの傍らでは、夏のカーリングとして、ニュースポーツ「ユニカール」の体験も行っていました。
閉会式で福島市長は「皆さんの頑張っている姿に感動しました。また、ここ、つがる市に集えることを願っています」とあいさつしました。



稲垣チームVS広島県チーム



戦況を見る木造チーム



無料休憩所
ふるまいコーナー